

「権利と義務」について考えよう

1 主題設定の理由

私たちが社会生活を営む場合に、ルール(法)やマナー(道徳)が存在し、それが必要であることは誰もが知っていることである。しかし、「権利(自由)」の意味を「勝手気ままなことをすること」とか「人に迷惑をかけなければ何をしてもいい」という様な解釈をしたり、「権利」を強く主張するばかりで、ルールやマナーを軽視して回りへの気配りを怠る人もいる。

学校は小さな社会であり、集団生活の場である。全員が自己の権利を主張した場合、誰かの権利を侵害する場合もあり得る。誰もが安心して生活ができ、不利益を被らないために公共の福祉(権利間の調整、社会全体の利益)の観点から「決まり」が定められていることを理解する必要がある。言い換えれば、「権利」を強く主張するばかりで、回りへの気配りを怠る行為は義務(責任)を十分果たしているとは言えず「権利の濫用」であることを理解する必要がある。

従って、一定のルールの中で個々の個性や特長を発揮することこそが「権利(自由)」の真の意味であり、「義務(責任)」もともなう場合があることを理解し、自分自身の生活の状況を振り返るきっかけとなる指導の一助としてほしいと願います。

つまり、自分自身の生活状況を振り返るとともに、「権利と義務」について理解を深めるのが本時のテーマである。ただし、ここで扱っている「権利と義務」の関係は双務契約のような場合を前提としていることを御承知おきください。

2 対象生徒 1~3学年

3 本時のねらい

- (1) 「権利と義務」の関係について理解させる。
- (2) 権利(自由)には義務(責任)がともなう場合があることを理解させる。
- (3) 自分自身の生活状況を振り返りながら、法の必要性も理解させる。

4 事前の準備

- (1) ホームルームを6班程度に編成し、各班で話し合いが進められるような役割分担をしておくが良い。
- (2) 本誌を参考にして、独自のチェックシートを作成しておいても良い。

5 展開

項目	内容	留意事項	時間
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業について説明する。 ・本誌P106への記入に際しての留意事項を説明。 <ol style="list-style-type: none"> 1 権利の意味を確認する。 2 自分たち権利の例を、あまり深く考えすぎないことを伝える。 	10分
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・B男の生活状況について説明し、問われていることが権利と義務の関係であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活状況について挙手させる。 	5分
	<p>「B男の主張への意見」とP107の「義務について」をノート等にまとめ、班ごとに話し合う。</p> <p><班別討論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された問題について、各班内で討論し、意見をまとめる。 <p><各班発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の討論の状況と意見を発表する。 <p><全体討論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表を踏まえ、クラス全対としての対応を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜机間巡視をし、各班の各班の進捗状況を把握する。 ・発表者が話しやすいような雰囲気作りに努める。 ・指導者が適宜助言し、クラス全体としてどう対処すべきかを考えさせる。 ・早く班の意見がまとまった場合、権利と義務の関係について考えさせる。 ・権利と義務の関係を説明する。 	30分
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を通じて感じたことを事前に配付しておいたシート、又はテキストに記入する。 ・指導者の感想と今後に注意すべき点について確認する。 ・最後にシートを回収する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で記入できるように書式に留意する。 ・シートの代わりにテキストを使用しても良い。 	5分
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて真剣に考えることができたか。 ・「権利と義務」の関係について理解できたか。 ・権利(自由)には義務(責任)がともなう場合があることを理解できたか。 		

